

# 「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクト

コスモ石油エコカード基金は、2002年4月に「地球のために何かをしたい」というお客様の思いと、コスモ石油の思いがひとつになって生まれました。

2002年4月に発行した『コスモ・ザ・カード・ハウス「エコ」』と、2006年6月に発行した『コスモ・ザ・カード・オーパス「エコ」』の会員（以下「エコ会員」）の皆さまからの年間500円の寄付金と、コスモ石油のカード売上の一定割合をもとに、当基金は地球環境貢献活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを展開しています。

message

2008年7月に日本を含む8ヶ国の首脳とEU委員長参加の首脳会議「北海道洞爺湖サミット」が開催されました。主要テーマのひとつに「環境・気候変動」がありました。このことは、地球環境問題が世界の重要な課題であることを示しております。

この「環境・気候変動」にも共通するメッセージ「ずっと地球で暮らそう。」という合言葉は、私たちの暮らす美しく自然豊かな地球が遠い将来も存続してほしいとの願いを含めたキャッチフレーズです。2002年4月にコスモ石油エコカード基金を創設し、地球環境貢献活動「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを開始しましたが、現在では「地球環境のために何かをしたい」という86,579名（2008年6月末現在）の会員の皆さまのご支援をいただき、2008年度に7年目を迎えることができました。これも、ひとえに会員の皆さまのご支援や励ましのおかげであり、心から御礼を申し上げます。

私たちは、地球温暖化防止をテーマに、途上国が直面している深刻な環境問題への取り組みと、日本国内の将来を担う子どもたちに対する環境教育を続けて参ります。

た。リオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミット（1992年）やヨハネスブルク・サミット（2002年）などでも国際的に合意されている「共通だが差異ある責任」を私たちの問題として真摯に受け止め、「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトを展開しています。

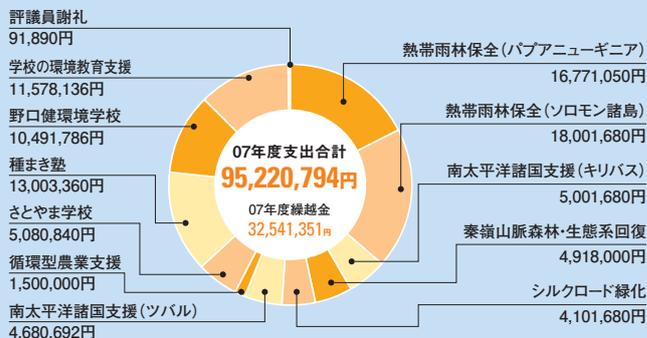
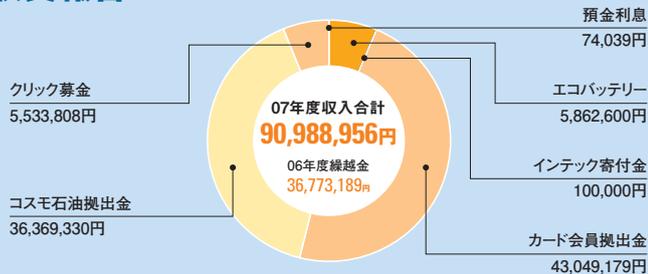
2008年度は、参加型プログラムの展開や地球温暖化防止プロジェクトの新規公募などのステークホルダーとのコミュニケーション強化を中心に、地球環境貢献活動を継続して参ります。

最後に「環境・気候変動」への取り組みは、解決まで長い道のりが予想されます。私たちは「ずっと地球で暮らそう。」を合言葉に、これからも会員の皆さまと地球環境保全への想いを共有し、今できることを実践して参ります。今後も、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

コスモ石油エコカード基金  
理事長 近藤 直正



## 収支報告



## 基金の収支に関するレビュー結果

2008年4月8日  
公認会計士 加藤 俊也

2007年度（2007年4月1日から2008年3月31日まで）の収入と支出について、基金が作成された収支報告に間違いがないかどうかを、基金の外部にいて利害関係のない独立の立場から、会計の専門家としてレビューを行いました。その結果、我が国において一般に公正妥当と考えられる収支計算の基準に準拠して、問題になる点は発見されませんでした。レビューは、監査と異なり、質問や財務情報の分析の手続き、主要な証憑と会計記録の照合などの限定的な手続きの実施によるものです。

## 資金規模と会員数の推移

